

ご卒業おめでとうございます ～第43回卒業証書授与式～

2月26日（火）第43回卒業証書授与式を挙りました。丹波市長 谷口進一様、丹波市教育委員 出町慎様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、卒業生の門出を祝福していただきましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、誠におめでとうございます。

32名の生徒が、それぞれの目標に向かって母校氷上西高校を卒業することができました。本校教育活動に多大なご支援とご協力を賜り、ほんとうにありがとうございました。

卒業生一人一人に、名前を呼びながら壇上で卒業証書を手渡しました。氷上西高校での3年間で、心身ともにたくましく成長しました。充実した学校生活を終えた明るい笑顔で微笑む卒業生たちを見て、とてもうれしい気持ちになりました。



（校長式辞から抜粋）

私は機会あるごとに皆さんに、自分を成長させるためには「何かに挑戦してほしい」と言ってきました。「不可能」の反対は「可能」ではありません。「不可能」の反対は「挑戦」です。ちょっと難しいと感じたら、「どうせ無理」と言い訳をして、簡単に自分の限界を決めてしまわずに、これからも、つねに挑戦する気持ちを持ち続けてください。人は経験から学びます。中でも失敗の経験からより多くのことを学びます。成功するためには、その途中で失敗やミスをする必要も必要です。ミスすることを恐れたり、恥ずかしがったりして何もしない人に「成功」はありません。失敗やミスは必ず次の成功につながっています。ミスをしない人は、何もしない人であり成功しない人だと思います。

4月からの新しい環境の中で新しい生活を始める皆さんに、人生を豊かにする「かきくけこ」で始まる五つの言葉を送ります。「か」は感謝です。世の中、自分一人だけできることはほとんどありません。他の人と協力したり助けてもらわないと何もできません。周りの人に対して感謝の気持ちを持てる人になりましょう。「き」は興味です。いろいろなことに興味を持ちましょう。興味の反対は無関心です。無関心の先にあるものは無責任です。興味・関心を持つことで、ものや人の見え方が変わります。「く」は工夫です。工夫することで自分の仕事や勉強が楽しくなります。工夫なくして成功はありません。「け」は健康です。心身ともに健康にはくれぐれも注意してください。「こ」は好奇心です。好奇心から新しいアイデアが生まれます。好奇心は人生のエネルギーです。

卒業生の皆さんが、母校氷上西高校とふるさと丹波を愛する心を持ち続け、自分を信じて、失敗を恐れることなく、それぞれの目標に向かって一步一步歩んで行かれることを願っています。

（校長 高橋信之）